

「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）病原体検査の指針」が改定され第4版となっています

「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)病原体検査の指針（第4版）」の改訂のポイントは以下の通りです。

- ・変異株に対するPCR検査の現況について追記
- ・施設等での幅広い検査に抗原定性検査を用いる場合の留意点を追記
- ・鼻腔ぬぐい液の自己採取に際して、医療従事者の常駐しない施設等で抗原定性検査を迅速に実施する場合には、検体採取等の注意点を理解した施設等の職員の管理下で実施することを追記

オンデマンド方式で良いとされた、施設基準要件の講習会について—「臨時的な取扱い（その48）」

特定集中治療室管理料の施設基準要件として「集中治療部門での勤務経験を5年以上有しているほか、特定集中治療に習熟していることを証明する資料を提出すること」とされており、「特定集中治療に習熟していることを証明する資料」について、「日本集中治療医学会等の関係学会が行う特定集中治療に係る講習会を受講していること、および特定集中治療に係る専門医試験における研修を含むものとする。」とされています。この「日本集中治療医学会等の関係学会が行う特定集中治療に係る講習会」に、日本集中治療医学会が行う、オンデマンド方式講習会の「JSICM 学術集会アーカイブス」も該当するとされました。

手術の通則 19「遺伝性乳癌卵巣癌症候群の患者に対して算定できる手術の施設基準」で「当該医師は医療関係団体が主催する遺伝性乳癌卵巣癌症候群に関する研修を修了していること。」とされている研修に、日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構が行う、オンデマンド方式講習会の「JOHBOC E-learning セミナー」も該当するとされました。

「新型コロナウイルス感染症の”いま”に関する11の知識」が「2021年6月版」に改定されています

新型コロナワクチンの特徴について、ファイザー社製に加え、モデルナ社製ワクチンについてもふれています。また、新型コロナウイルスの変異について、B.1.1.7系統の変異株（アルファ株）とB.1.617系統の変異株（デルタ株等）の記述がされています。

新型コロナワクチンの「健康観察日誌集計の中間報告」がされています

2021年6月9日に開かれた「第61回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和3年度第9回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会（合同開催）」で、「新型コロナワクチンの投与開始初期の重点的調査（コホート調査）健康観察日誌集計の中間報告」が示されています。

当該報告の「コミナティ筋注 まとめ」では、「1回目接種後の発熱（37.5℃以上）は3.3%であったが、2回目は38.5%と高率であった。発熱する場合は翌日が多く、接種3日目には解熱した。接種部位の疼痛は90%を超える被接種者が自覚し、接種翌日が最も頻度が高かった。接種3日後には軽快した。1回目に比べ、2回目接種では接種翌日に頭痛（5割）、全身倦怠感（7割）を自覚した。年齢および性別によって、副反応の発現頻度は異なり、若年者・女性が高かった。65歳以上（578人）では発熱9%、全身倦怠感38%、頭痛21%であったが、接種部位疼痛は78%であった。」「2009年のH1N1pdmインフルエンザワクチンNH02万人調査と比較すると、コミナティ筋注は接種部位の疼痛の頻度が明らかに高く、2回目接種後の37.5℃以上の発熱（4割）、頭痛（5割）、全身倦怠感（7割）を認めた。」等とされています。

協会ホームページに厚労省の該当サイトのリンクをはってありますので、詳細はそちらをご覧ください。